

ULTINA On Demand Platform

シェアード・ホスティング 管理者マニュアル

* 本マニュアルに関するお問合せは、下記連絡先へお願いします *

法人お客様センター

☎ 0800-919-0041(無料) 平日 9:00~18:00

FAX : 0800-919-0047(無料) 年中無休・24時間受付

E-mail : info-domain@odn.ad.jp 年中無休・24時間受付

【Ver. 4.4】

2013/05/15

ソフトバンクテレコム株式会社

* コントロールパネル動作確認済みブラウザ *

Firefox 2.0 以上

Microsoft Internet Explorer 6.x Microsoft Internet Explorer 7.x New! Microsoft Internet Explorer 8.x

Mozilla 1.7 以上

Safari 2.x New! Safari 3.1

注: Parallels Plesk Panel を使用する際は、ブラウザのポップアップブロッキングを無効にしてください。

Windows/UNIX 版の Microsoft IE 5.5 および Netscape v4.5 以下のサポートは終了しました。

第3章 その他機能	1
3.1 標準 CGI	1
3.1.1 アクセスカウンタ	2
3.1.1.1 HTML での記述方法	2
3.1.1.2 各パラメータの変更方法	2
3.1.1.3 設定ファイル(counter.conf)	5
3.1.2 フォームメール	6
3.1.2.2 フォームメールご利用イメージ	7
3.1.2.2 フォルダについて	8
3.1.2.3 フォームメール作成方法	10
3.1.2.4 注意事項	18
3.1.2.5 エラー時のチェック事項	19
3.2 SSL	19
3.2.1 CSR 発行	19
3.2.1.1 更新時の注意事項	19
3.2.1.2 ドキュメントルート	19
3.2.1.3 CSR 発行方法	19
3.2.1.4 SSL 証明書適用方法	22
3.2.1.5 SSL 証明書有効化方法	23
3.2.2 SSL 証明書更新方法	23
3.3 SSI	24
3.3.1 ご利用方法	24
3.3.2 ご利用可能コマンド	24

第3章 その他機能

3.1 標準 CGI

標準 CGI として「アクセスカウンタ」及び「フォームメール」を提供します。これらの CGI は本サービス以外の環境では動作しませんのでご注意ください。

サポート範囲は、本サービス固有の記述ルールのみとなります。一般的な HTML の記述方法についてはサポート外となります。あらかじめご了承ください。

※ 当社が提供する標準 CGI は外部のホストから起動できないように、「リファラチェック」というものを行っています。そのため、DNS で名前解決できるようになるまで動作確認を行う事はできません。(IP アドレスで直接アクセスして CGI の動作確認を行う事はできません)

3. 1. 1 アクセスカウンタ

3. 1. 1. 1 HTML での記述方法

カウンタを表示させたいページ(HTMLファイル)に下記のように記述してください。

```

```

xxx はお客様の URL を指定してください。

(例) お客様ドメインが「**example.jp**」の場合

```

```

上記記述を行う事により、次のデフォルト設定のアクセスカウンタが作動するようになります。

<デフォルト設定の内容>

gif1フォルダに含まれているデフォルト画像で表示を行います。

カウンタの画像を変更したい場合は、「(2)各パラメータの変更方法 ①GIFファイルの指定」をご参照ください。

<表示例>

1 2 3 4 5

総カウント数を全て表示できる桁数で表示を行います。

表示桁数を指定したい場合は、「(2)各パラメータの変更方法 ②桁数の指定」をご参照ください。

3. 1. 1. 2 各パラメータの変更方法

上記(1)にて記述した `` の後ろに続けて各パラメータを指定する記述を加えることで、各パラメータを変更できます。

<各パラメータの変更方法>

counter.cgi の後に、`?A=B&C=D&E=F...` というようにパラメータを付加します。

具体的には、``の後ろに「 ? 」をつけて、「A=B 」というパラメータを、 & で区切りながら、後ろに付けていきます

(例) gifファイルに「2」を指定し、idに「index」、桁数(fig)に「5」を指定する場合は下記のように記述します。

```

```

<各パラメータの意味>

① GIFファイルの指定(gif)

gif=0

カウント数が透明なGIF画像で表示(=非表示)になります。

gif=1

指定が無い場合及びgif=1とした場合はデフォルトの画像が表示されます。

<表示例>

1 2 3 4 5

gif=2から6

ソフトバンクテレコムにてご用意したデフォルトとは別のGIF画像を表示します。

各画像のイメージは下記のとおりです。

gif=2の場合

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

gif=3の場合

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

gif=4の場合

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

gif=5の場合

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

gif=6の場合

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

gif=7から9

お客様がご用意した画像を利用する場合、gif=7～gif9まで指定して使用することが出来ます。

※gif=7以降の指定をする場合は、予めカウンタの画像を所定の位置に用意しておく必要があります。

<画像の設置方法(例: gif=7)の場合>

下記のフォルダへ、お客様がご用意したGIF画像に下記指定のファイル名を付けて保存してください。

フォルダ名: /cgi-bin/jtcounter/gif7/

ファイル名: 0.gif～9.gif

② 桁数指定(fig)

figで指定した桁数で表示します。

指定が無い場合はカウント数に応じて桁数が変化します。

(例) fig=5 の場合、カウント値に拘わらず、カウンタが5桁で表示されます。

<表示例> カウンタ値が1の場合

0 0 0 0 1

(注) 桁数指定をした場合、指定した桁数を超過するカウント数があった場合は、0に戻って表示されます。

ただし、後述する③の.datファイル中のカウント数は桁数超過後も継続されますので、もし指定した

桁数を超過した場合は、桁数を増やしていただくか、桁数の指定をしなければ、正しいカウント数が表示されるようになります。

③ マルチカウンタ(id)

「id」で指定した値を「カウンタ数値保存ファイル名」として、カウント数値が保存されます。

具体的には、id=index のように設定します。

上記の場合は「index.dat」というファイルにカウント数値が保存されていきます。

カウンタの表示はこのファイルに保存されているカウント数値が表示されます。

※ 呼び出すHTMLが別でもidの指定が同じ場合は同一ページとして合計してカウントされます。

※ 指定が無い場合、id=indexと指定された動作を行います。

(カウンタの設定値)

idで指定したファイル(上記の例であれば index.dat)にカウント数値が保存されているので、この数値を変更すれば次回はその数値からカウントアップされていきます。初めてのアクセス等、ファイルが存在しない場合には、ファイルを自動で作成し1からカウントを開始します。

<カウンタ数値保存ファイルの保管場所(id=index の場合)>

/cgi-bin/jtcounter/data/index.dat

(合計カウント数表示機能)

使用している、すべてのアクセスカウンタの合計カウント値を表示します。

ご利用になる場合は、「id」を「all」として指定してください。

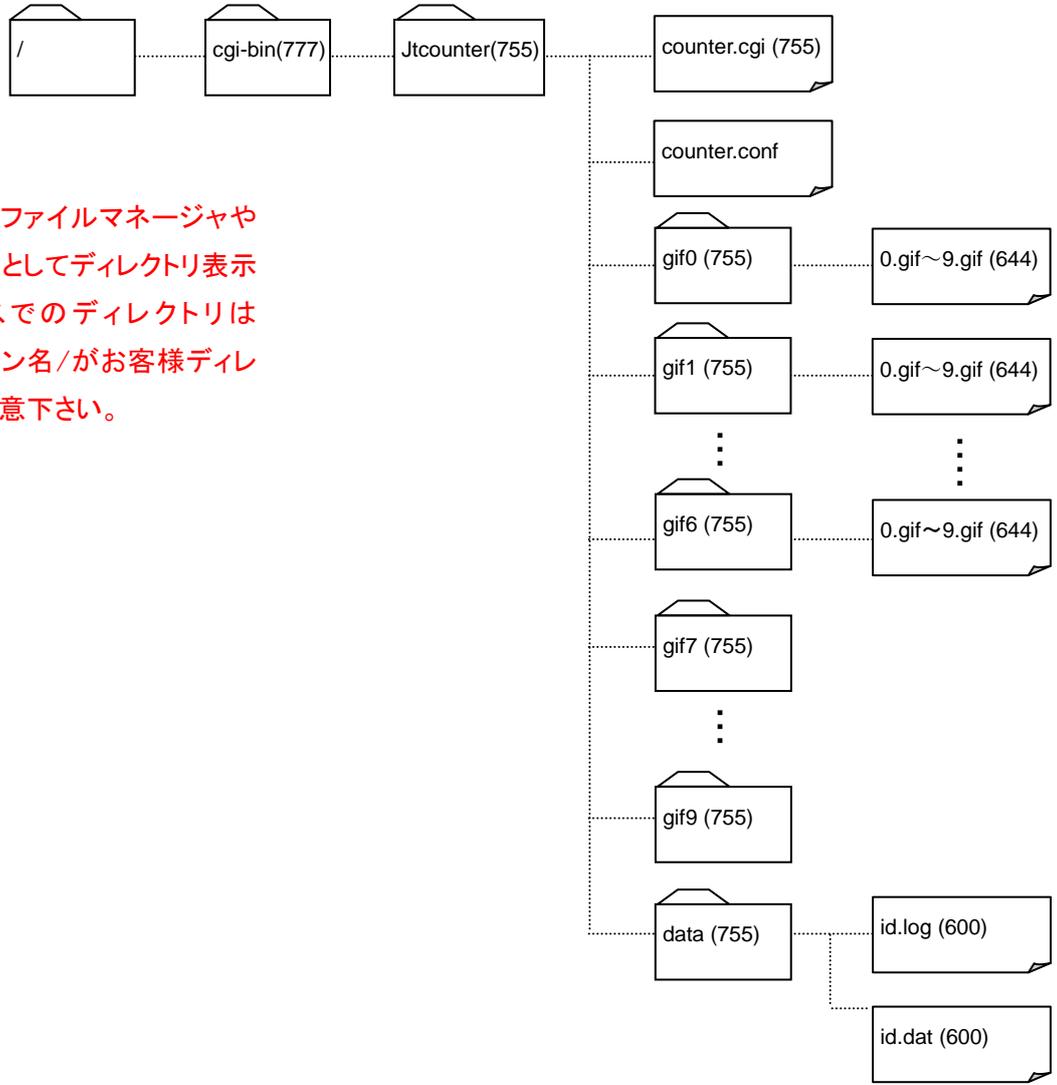
(例) counter.cgi?id=all

(注)上記の合計カウント数表示機能をご利用される場合、この記述で表示されるアクセスカウンタは、各カウンタ数値の合計数を表示するだけで合計カウント数表示カウンタのカウントアップは行われません。例えば、トップページに「id=all」のカウンタを設置し、別のページに、「id=1」、「id=2」、「id=3」と3つのカウンタが設置してある場合には、1、2、3の各カウンタの合計値がトップページのカウンタへ表示されますが、トップページにアクセスがあっても、「id=all」で表示されているカウンタのカウントアップはされません。

3. 1. 1. 3 設定ファイル(counter.conf)

設定ファイルの内容を変更することでCGIの動作を変更できます。

設定するためには「jtcounter」フォルダにある「counter.conf」ファイルをエディタ等にて修正してください。



コントロールパネル上のファイルマネージャやFTP 接続した場合は「/」としてディレクトリ表示されますが、絶対パスでのディレクトリは /var/www/vhosts/ドメイン名/がお客様ディレクトリとなりますのでご注意ください。

表記の意味

フォルダ名
(パーミッション)

ファイル名
(パーミッション)

<連続カウント制御(IP_CHK)>

連続で同一IPアドレスからアクセスがあった場合にカウントするかないかの指定ができます。

- IP_CHK=0 チェックしない
- IP_CHK=1 同一IPアドレスからのアクセスの場合カウントしない

※ IP_CHK=1とした場合、最後にアクセスしたIPアドレスをログとして保存します。

 ログの保管場所: /cgi-bin/jtcounter/data/id.log

※ 初期値はIP_CHK=0となっております。

3. 1. 2 フォームメール

フォームメールはホームページの画面上で入力された内容を、指定したメールアドレスに送信する機能です。

※ フォームメールをご利用するときの入力フォーム用の HTML や各種ファイルの文字コードを EUC コードとして下さい。SJIS 等別の文字コードで作成すると文字化けします。

※ EUC の編集を行えるテキストエディタ(TERAPAD 等)を使用したり、ホームページ作成ツールを使用する場合、次のような設定にして作成してください。

※ 「文字エンコードを META タグで指定する。」という設定とする。

※ フォームメールを編集するときのみ文字エンコードを EUC とする。

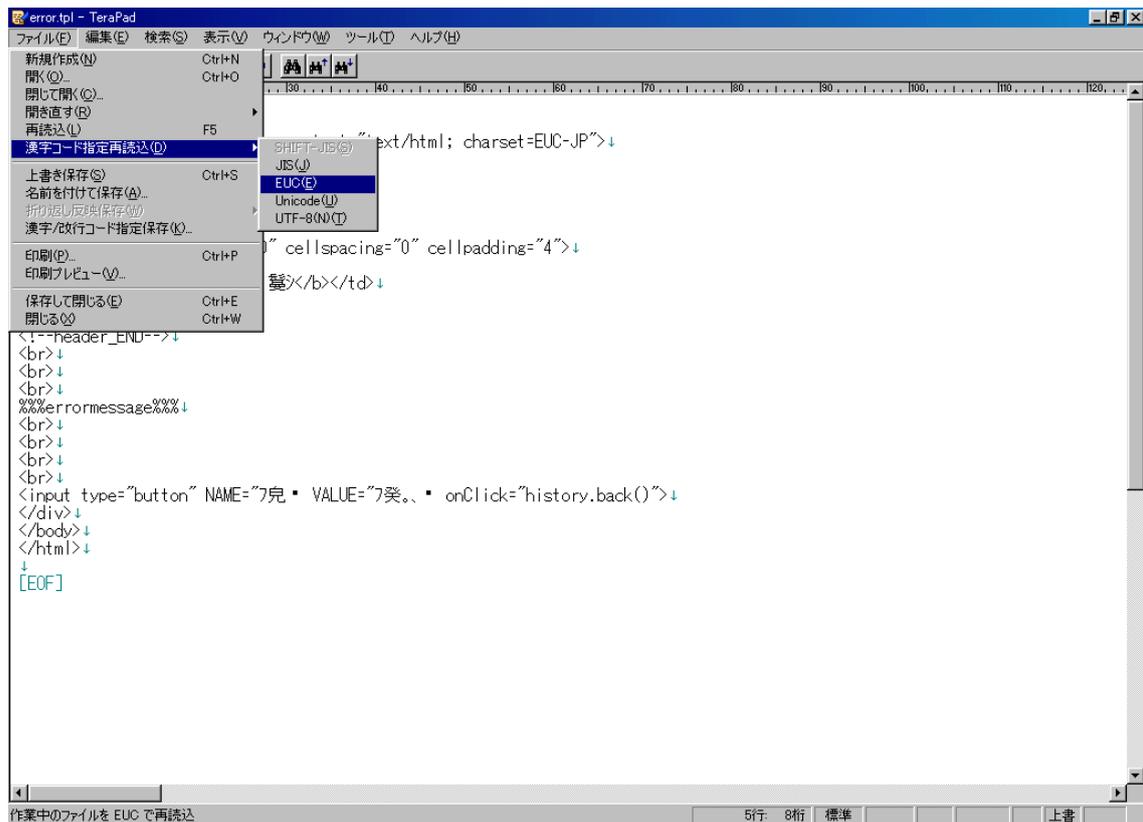
※TERAPAD について

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se104390.html> 等をご参照ください。

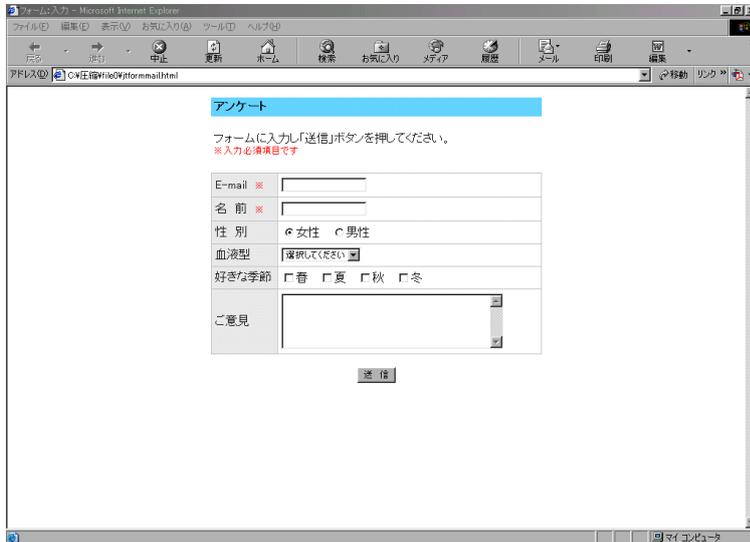
<TERAPAD 利用時の注意事項>

文字コードを自動的に認識して表示しますが、誤認識して文字化けする場合、[ファイル]－[漢字コード指示再読込]－[EUC]で再読込してください。

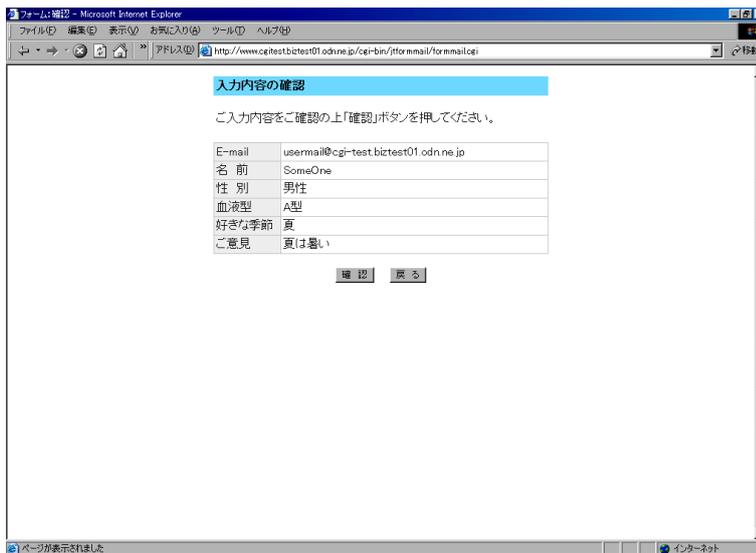
<TERAPAD ご利用例>



3. 1. 2. 2 フォームメールご利用イメージ

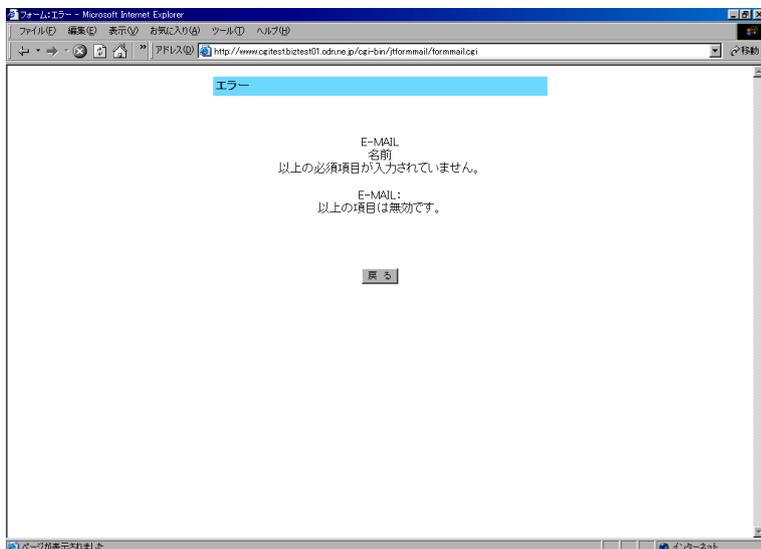


<入力フォーム画面>
必要な項目を入力して送信ボタンをクリックします。



<送信内容確認画面>
エラー無しの場合、送信内容確認画面が表示されます。

確認ボタンをクリックすると、送信完了画面が表示されるとともに、入力内容が設定されている管理者のメールアドレスに送信されます。



<再入力依頼画面>
入力項目にエラーがある場合、再入力依頼画面が表示されます。
戻るボタンクリックで入力画面へ戻ります。



<送信完了画面>
 最後に送信完了画面が表示されます。
 設定ファイルにて指定されたメールアドレスへメールが送信されます。

3. 1. 2. 2 フォルダについて

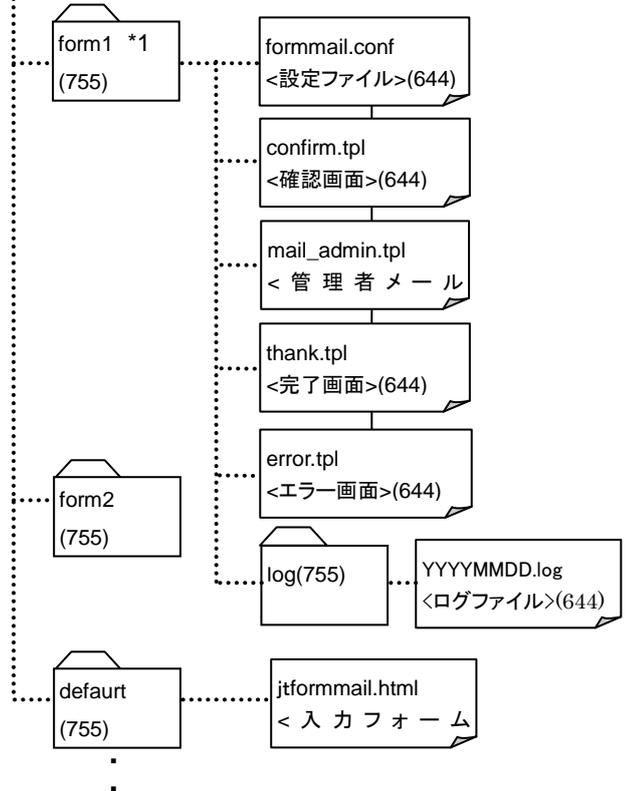


コントロールパネル上のファイルマネージャや FTP 接続した場合は「/」としてディレクトリ表示されますが、絶対パスでのディレクトリは /var/www/vhosts/ドメイン名/ がお客様ディレクトリとなりますのでご注意ください。

表記の意味

フォルダ名
 (パーミッション)

ファイル名
 <ファイルの説明>
 (パーミッション)



※form1 フォルダに各種設定ファイルが配置されています。
 本フォルダ以下のファイルを修正する事でフォームメールを作成してください。
 新しいフォームメールを作成する時は、form2 フォルダ配下に form1 フォルダ配下のファイルをコピーした後に、
 ファイルを編集してご利用下さい。
 フォームメールは9個まで作成する事が可能です。(form1～form9)
 ※ファイル名を変更しないで下さい。変更すると正常に動作しません
 ※入力フォームの jtformmail.html は、利用したい場所にコピーしご利用下さい。

<各ファイルの説明>

formmail.cgi	:	CGI 本体
jtformmail.html	:	入力フォーム画面
confirm.tpl	:	確認画面用ファイル (入力画面の入力項目を追加変更した場合、必ず変更する必要があります。)
mail_admin.tpl	:	送信メールフォーマット用ファイル (入力画面の入力項目を追加変更した場合、必ず変更する必要があります。)
thank.tpl	:	完了画面用ファイル (完了画面を特にカスタマイズしない場合、変更する必要はありません。)
error.tpl	:	エラー画面用ファイル (エラー画面を特にカスタマイズしない場合、変更する必要はありません。)
formmail.conf	:	設定ファイル (メール送信先の指定やログ保存有無等の設定します。必ず設定してください。)
YYYYMMDD.log	:	入力内容のログファイル (設定ファイルにより、保存有無を設定できます。)

<入力フォーム画面(jtformmail.html)のデフォルト画面>

The screenshot shows a web browser window displaying a form with the following fields:

- 名前(漢字) ※: 姓 [] 名 []
- 名前(ふりがな) ※: せい [] めい []
- 性別: 女性 男性
- 御社名: 法人の方のみご記入ください []
- 所属部署名: 法人の方のみご記入ください []
- 郵便番号 ※: 半角数字7ケタでのご記入をお願いします(例:****-****) 〒 [] - []
- 都道府県 ※: 選択してください []
- 市区町村以下住所 ※: []
- アパート、マンション名: []
- 電話番号 ※: 半角数字でのご記入をお願いします(例:**-*****-****) []
- E-mail ※: []
- このHPを何で知りましたか?: テレビ 新聞 雑誌 他のホームページ その他
- ご意見: []

送信 []

3. 1. 2. 3 フォームメール作成方法

<入力フォーム画面の作成>

デフォルトの入力フォーム画面 (jtformmail.html) を編集して作成します。

(注) 文字コードを EUC で編集してください。

(SJIS 等他の文字コードで編集すると文字化けが発生します。)

(例) ドメイン名は example.jp とし、デフォルト画面に次の変更を行う場合

- ・ 自宅 E-MAIL (項目名 E-mail2) の入力項目を追加
- ・ 性別 (項目名 sex) を削除する。

① jtformmail.html

```
<html>
<head>
<meta http-equiv=Content-Type content="text/html; charset=EUC-JP">
<title>フォーム: 入力</title>
</head>
<body bgcolor="#FFFFFF">
<div align="center">
<table width="550" border="0" cellspacing="0" cellpadding="4">
<tr>
<td bgcolor="#88DDFF" align="center"><b><!--フォームタイトル-->アンケート</b></td>
</tr>
<tr>
<td><br>
フォームに入力し「送信」ボタンを押してください。<font color="#FF0000" size="2">※入力必須項目です
</font></td>
</tr>
</table>
<!--FORM_START-->
<form action="http://www.example.jp/cgi-bin/jtformmail/formmail.cgi" method="post">
<!--hidden 開始-->
<!--form.html には以下4つの hidden 項目が必須となります-->
<input type="hidden" name="ope" value="confirm">
<input type="hidden" name="form" value="1">
<input type="hidden" name="need" value="E_mail=E-mail NAME1=姓 NAME2=名 E_mail2=自宅 E-mail">
<input type="hidden" name="check" value="E_mail=E-mail E_mail2=自宅 E-mail">
<!--hidden 終了-->

<!--以下ユーザ入力項目開始-->
<table width="550" border="0" cellspacing="0" cellpadding="0">
<tr>
<td bgcolor="#CCCCCC">
<table cellpadding="10" cellspacing="1" width="100%">

<tr>
<td bgcolor="#eeeeee" width="30%"><font size="2">名前 (漢字) <font color="#FF0000"
size="2">※</font></td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
.<br>
<font size="2">姓</font> <input type="text" name="Name1">
.<br>
<font size="2">名</font> <input type="text" name="Name2">
.<br>
.<br>
.</td>
</tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>
```

注意: EUC 固定

起動用タグの呼び出しに URL を記述する。相対パスでの指定も可能です。

form1 フォルダを利用する場合 1、form2 フォルダを使用する場合は"2"を。1~9 まで指定可。

必須項目に E-mail2 を追加します

メールアドレスチェックに E-mail2 を追加します

(前ページより続き)

```

      .
      .
      .
      .
<tr>
<td bgcolor="#e0e0e0" width="35%"><font size="2">性別</td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
<input type="radio" name="sex" value="女性" checked><font size="2">女性</font>
<input type="radio" name="sex" value="男性"><font size="2">男性</font>
</td>
</tr>
      .
      .
      .
      .
<tr>
<td bgcolor="#e0e0e0" width="35%"><font size="2">E-mail<font color="#FF0000" size="2">
※</font></td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
<input type="text" size="60" name="E_mail">
</td>
</tr>

<tr>
<td bgcolor="#e0e0e0" width="35%"><font size="2">自宅 E-mail<font color="#FF0000" size="2">
※</font></td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
<input type="text" size="60" name="E_mail2">
</td>
</tr>
      .
      .
      .
      .

```

性別を削除します

E-mail2を追加します

<設定ファイルの作成>

設定ファイル(formmail.conf)を編集して作成してください。(文字コードを EUC で編集してください。)

```

RCPT_TO=admin@example.jp
MAIL_FROM=formmail@example.jp
SUBJECT=アンケート
LOG=0
DELIMITOR=,

```

送信先メールアドレスを設定します

送信元メールアドレスを設定します

件名を変更します

ログを「残さない(=0)」に設定します。
(残す場合は1に設定します。)

※ 送信先メールアドレス／受信先メールアドレスのデフォルト設定は“postmaster”になっています。
変更せずに、メールBOXも作成しない場合、送信先／受信先とも不明で、管理者用メールBOX
(ID: 管理者ID／PW: 管理者PW)に保管されます。必ず既存のメールアドレスを設定するか、
該当するメールBOXを作成して、受信できる状態にしてください。

<確認画面用ファイルの作成>

デフォルトの確認画面ファイル(confirm.tpl)を編集して作成してください。(文字コードを EUC で編集してください)

```
<html>
<head>
<meta http-equiv=Content-Type content="text/html; charset=EUC-JP">
<title>フォーム: 確認</title>
</head>
<body bgcolor="#FFFFFF">
<div align="center">
<!--header_START-->
<table width="450" border="0" cellspacing="0" cellpadding="4">
<tr>
<td bgcolor="#88DDFF"><b>入力内容の確認</b></td>
</tr>
<tr>
<td><br>
ご入力内容をご確認の上「確認」ボタンを押してください。</td>
</tr>
</table>
<!--header_END-->
<!--FORM_START-->
<form action="/formmail.cgi" method="post">
<!--hidden 開始-->
<!--confirm.tpl には以下2つの hidden 項目が必須となります-->
<input type="hidden" name="ope" value="send">
<input type="hidden" name="form" value="1">
<!--hidden 終了-->
.
.
<!--以下ユーザ入力項目開始-->
<tr>
<td bgcolor="#e0e0e0">性別</td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
<input type="hidden" name="sex" value="%%%sex%%%">%%%sex%%%"
</td>
</tr>
<tr>
<td bgcolor="#e0e0e0">自宅 E-MAIL</td>
<td bgcolor="#FFFFFF">
<input type="hidden" name="E_mail2" value="%%%E_mail2%%%">%%%E_mail2%%%"
</td>
</tr>
```

注意: EUC 固定

form1 フォルダを利用する場合 1、form2 フォルダを使用する場合は 2 を。1~9 まで指定可。

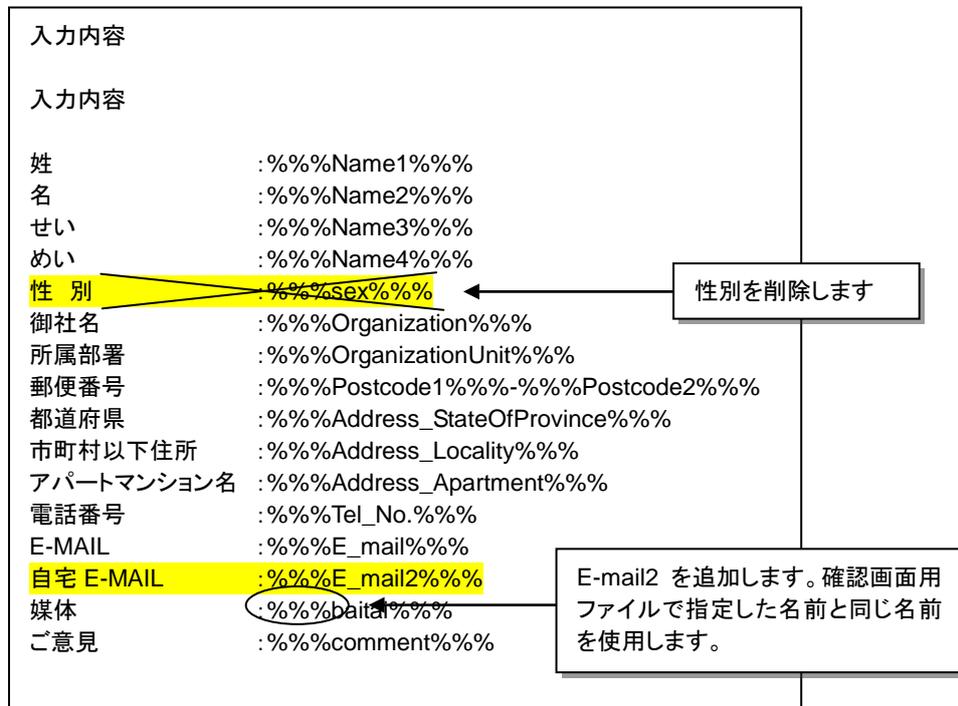
性別を削除します

E_mail2 を追加します。入力フォームで設定した name 値と同じ name 値を使用します。

注意: 同じ名前

<送信メールフォーマット用ファイルの作成>

デフォルトの送信メールフォーマット用ファイル(mail_admin.tpl)を編集して作成してください。



<FTP でアップロード>

本例の場合、

- 送信メールフォーマット用ファイル(mail_admin.tpl)/設定ファイル(formmail.conf)/確認画面用ファイル(confirm.tpl)を/cgi-bin/jtformmail/form1へFTPでアップロードしてください。(form2フォルダを使用する場合はform2フォルダへ、form3~form9を使用するときもその該当フォルダへアップロードしてください。)*1

- 入力フォーム(jtformmail.html)についてはご利用になる任意のフォルダへアップロードしてください。

(*1)mail_admin.tpl/ formmail.conf/ confirm.tpl 以外のファイル(error.tpl/ thank.tpl)も存在しないと内部サーバーエラーとなります。サーバ上から削除している場合、あわせてアップロードしてください。

<メールアカウントの作成>

「(2)設定ファイルの作成」で指定されたメールアカウントの作成を行います。

アカウントの作成はコントロールパネルへログインして実施してください。

「(2)設定ファイルの作成」で既存のメールアドレスを設定している場合は、必要ありません。

例) admin@ example.jp
formmail@example.jp

- * メールの宛先がお客様契約ドメインである場合、リモートのメールサーバへ送信されず、必ず当サービス上のメールBOXへ送信されます。当サービス上で該当のメールBOXを作成してください。特にWEBのみご利用でメールサーバをお客様にて管理している場合、ご注意ください。

<記述ルール>

① 入力フォーム画面の記述ルール

(独自記述ルール)

① CGI 起動用タグ

```
<form method="post" action="http://xxx/cgi-bin/jtformmail/formmail.cgi">  
(xxx はお客様の URL)
```

CGI を起動するために必須です。本記述は form タグの開始であり、</form>までに記述されたタグの内容が CGI に引き継がれます。(相対パスでも指定可能です。)

② 確認画面表示用タグ

```
<input type="hidden" name="ope" value="confirm">
```

入力フォームで送信ボタンクリック後、確認画面を表示するために必要なタグです。

③ フォームメール指定用タグ

```
<input type="hidden" name="form" value="1">
```

使用するフォームメールの番号を指定します。Value 値は form1 フォルダを利用する場合 1 を、form2 フォルダを利用する場合 2 を設定します。9 まで設定可能です。

④ 入力必須オプション用タグ

```
<input type=hidden name="need" value="name=名前 mail=E-MAIL tel=電話番号">
```

入力必須項目を指定するタグです。

指定する場合、name 値を「need」、value 値を「必須項目 1 の name=表示文字列 + 半角スペース + 必須項目 2 の name=表示文字列 + 半角スペース ...」としてください。

⑤ メールアドレスチェック用タグ

```
<input type=hidden name="check" value="email1=自宅 E-MAIL email2=勤務先 E-MAIL ">
```

メールアドレスのチェックを行う時に指定するタグです。

指定する場合、name 値を「check」、value 値を「チェック項目 1 の name=表示文字列 + 半角スペース + チェック項目 2 の name=表示文字列 + 半角スペース ...」としてください。

* 本指定を行う事で次のチェックを行います。

1. 使用可能文字をは以下の通りです。
0123456789
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
! # \$ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ .
2. 「@」を一つだけ含む。
3. 「@」以降には最低一つ「.」を含む。
4. 「@」の前に最低一文字入っていること。
5. 空白の場合、メールアドレスチェックを行わない。

(入力項目タイプ)

1行フィールド、ラジオボタン、チェックボックス、選択メニュー、複数行フィールドなどの入力項目を、利用可能です。
※name 値は他の入力項目と重ならない値を使用してください。

① 1行フィールド

```
<input type="text" name="email">
```

1行の入力フィールドです。

(表示例)

② ラジオボタン

```
<input type="radio" name="sex" value="女性" checked>女性  
<input type="radio" name="sex" value="男性">男性
```

ラジオボタンは複数の選択項目のうちひとつだけ選択できる形式のボタンです。
同一グループの name 値は同じにする必要があります。どの項目が選択されたかを判断する為に value は個別の値を指定するようにしてください。最初に表示される時にチェックをつけたい項目に“checked”を追記してください。

(表示例)

女性 男性

③ チェックボックス

```
<input type="checkbox" name="baitai" value="テレビ">テレビ  
<input type="checkbox" name="baitai" value="新聞">新聞  
<input type="checkbox" name="baitai" value="雑誌">雑誌  
<input type="checkbox" name="baitai" value="他の HP">他のホームページ  
<input type="checkbox" name="baitai" value="その他">その他  
<input type="hidden" name="baitai" value="">
```

チェックボックスは、複数の選択項目の中から該当する項目を複数選択できるようにする場合に使用します。
同一グループの name 値は同じにする必要があります。どの項目が選択されたかを判断する為に value は個別の値を指定するようにしてください。チェックボックスのタグを記述した直後に同一 name で value 値が空のタグを記述してください。

(表示例)

 テレビ 新聞 雑誌 他のホームページ その他

④ 選択メニュー

```
<select name="blood">  
<option value="A 型">A 型  
<option value="B 型">B 型  
<option value="O 型">O 型  
<option value="AB 型">AB 型  
</select>
```

プルダウン形式のメニューです。

メニュー全体を<select>～</select>で囲って示し、その中に選択肢を表す<option>を必要な数だけ配置します。複数の選択は出来ません。

(表示例)



⑤ 複数行フィールド

<textarea name="comment"></textarea>

複数行の入力フィールドです。

(表示例)



② 設定ファイルの記述ルール

① 結果送信先メールアドレス

RCPT_TO=メールアドレス

入力フォームで入力された内容をお客様へメール送信する際の、送信先メールアドレスを設定します。デフォルトは postmaster となっています。

② 結果送信元メールアドレス

MAIL_FROM=メールアドレス

入力フォームで入力された内容をお客様へメール送信する際の、送信元メールアドレスを設定します。デフォルトは postmaster となっています。

③ 件名

SUBJECT=件名

入力フォームで入力された内容をメール送信する際の、件名を設定します。日本語を使用する場合は半角 60 文字以内で EUC 文字コードで記述してください。

④ アンケート結果のログ保存

ログを保存する場合 LOG=1
ログを保存しない場合 LOG=0

入力フォームで入力された内容のログファイルへの保存有無を設定します。

⑤ デリミタ(区切り文字)の指定

DELIMITOR=,

入力フォームで複数回答入力項目が存在する場合、確認画面等に表示する際の、区切り文字を設定します。指定可能文字は次の通りです。

0123456789
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 「-」 「_」 「.」 「,」 「@」 「 」
 これ以外のものが指定されていた場合は「 」半角スペースに入れ替えます。

③ 確認画面用ファイルの記述ルール

① CGI 起動用タグ

```
<form method="post" action=". /formmail.cgi">
```

CGIを起動するために必須です。本記述はformタグの開始であり、</form>までに記述されたタグの内容がCGIに引き継がれます。

② 送信完了画面表示用タグ

```
<input type="hidden" name="ope" value="send">
```

確認画面で送信ボタンクリック後、送信完了画面を表示するために必要なタグです

③ フォームメール指定用タグ

```
<input type="hidden" name="form" value="1">
```

使用するフォームメールの番号を指定します。form1フォルダを利用する場合1を、form2フォルダを利用する場合2を設定します。9まで設定可能です。

④ キーワード指定用タグ

```
<input type="hidden" name="email" value="%%%email%%%">
<input type="hidden" name="name" value="%%%name%%%">
<input type="hidden" name="sex" value="%%%sex%%%">
<input type="hidden" name="blood" value="%%%blood%%%">
<input type="hidden" name="season" value="%%%season%%%">
<input type="hidden" name="comment" value="%%%comment%%%">
```

入力フォーム画面で入力した内容を確認画面に表示、設定するために所定のキーワードを記述しておく必要があります。name値をフォーム入力項目名、value値を「キーワード書式」としてください。

キーワード書式 %%%フォーム入力項目名%%%

<例>

```
<meta http-equiv=Content-Type content="text/html; charset=EUC-JP">
<form method="post" action="http://XXX/cgi-bin/formmail/formmail.cgi">
<input type="hidden" name="ope" value="confirm">
<input type="hidden" name="form" value="1">
<input type="hidden" name="email" value="%%%email%%%">
<input type="hidden" name="name" value="%%%name%%%">
<input type="hidden" name="sex" value="%%%sex%%%">
<input type="hidden" name="blood" value="%%%blood%%%">
<input type="hidden" name="season" value="%%%season%%%">
<input type="hidden" name="comment" value="%%%comment%%%">
メールアドレス:%%%email%%%
氏名:%%%name%%%
性別:%%%sex%%%
血液型:%%%blood%%%
好きな季節:%%%season%%%
コメント:%%%comment%%%
</form>
```

④ 送信メールフォーマット用ファイルの記述ルール

お客様へのメール本文を個別に設定できます。
確認画面で記述するキーワードと同じキーワードが記述されている必要があります。

<例>

入力内容	
メールアドレス: %%%email%%%	
氏名: %%%name%%%	
性別: %%%sex%%%	
血液型: %%%blood%%%	
好きな季節: %%%season%%%	
コメント: %%%comment%%%	入力フォーム／確認画面で指定した値と同じ名前にします。

⑤ 完了画面用ファイルの記述ルール

デザインを個別に設定できます。カスタマイズする必要が無い場合、そのまま変更無しで使用できます。通常のHTMLファイルなので、特別な記述ルールはありません。

⑥ エラー画面用ファイルの記述ルール

デザインを個別に設定できます。カスタマイズする必要が無い場合、そのまま変更無しで使用できます。エラーメッセージを%%errormessage%%で指定します。

3. 1. 2. 4 注意事項

<日本語の扱い>

入力フォーム、各テンプレート及び設定ファイルは EUC で記述してください。
メール送信の際に、JIS 文字コードに変換し、送信します。

<外字／半角カナ>

入力フォームでの入力内容に外字や半角カナが含まれる場合、メール送信時/確認画面表示時に文字化けを起こす場合があります。

<ログファイルについて>

ログファイルは、ファイル名「YYYYMMDD. Log」で毎日保存されます。定期的に削除しないと、DISK 容量を圧迫しますので、定期的に削除してください。

ファイル形式はタブ区切りのテキストファイルで、次の形式で保存されます。
日付[tab]時間[tab]項目名 1=値[tab]項目名 2=値. . .

例)
2004/02/09 11:27:58 [E-MAIL=XXX@YYY.CO.JP](#)

※ 複数行フィールドにて入力された内容をログファイルに保存する場合、改行は削除されます。
※ ログファイルの保存有無は設定ファイルにて指定可能です。

<予約項目名について>

予約項目名として次のようなものがあります。使用すると正常な動作が行われません。
「automail」「ope」「form」「need」「check」「errormessage」

3.1.2.5 エラー時のチェック事項

<内部サーバーエラーが発生する場合>

次のようなチェックを行ってください。

- ・ 入力必須オプション用タグやメールアドレスチェック用タグで指定されている入力項目の値が存在しない。
- ・ 記述ルールを違反している。
- ・ 各種設定ファイルが存在しない。
- ・ IP アドレスで直接呼び出している。

<確認画面や送信メールである項目が表示されない場合>

次のようなチェックを行ってください。

- ・ 入力フォーム画面/確認画面用ファイル/送信メール用ファイルで入力項目の値が違う。
- ・ 入力フォーム画面で記述されている入力項目の値が確認画面用ファイルや送信メール用ファイルに記述されていない。
- ・ 確認画面用ファイルのキーワード指定用タグで「hidden」が抜けている。

3.2 SSL

お客様にて取得された電子証明書にて SSL のご利用が可能です。

1024bit または 2048bit がご利用可能です。

3.2.1 CSR 発行

3.2.1.1. 更新時の注意事項

更新時に当社より事前通知はいたしません。お客様にて更新時期には更新作業を行うようお願いいたします。更新前2ヶ月前には作業を開始する事を推奨します。

更新作業に関しては 3.2.3「SSL 証明書更新方法」参照下さい。

3.2.1.2. ドキュメントルート

https のドキュメントルートは、http のドキュメントルートと同一になります。http でのアクセスを拒否したい場合、cgi 等をご利用してご対応ください。

http の場合、ポート番号が 80 で https ではポート番号が 443 です。この違いを利用して、cgi 等で制御する事が可能です。

3.2.1.3. CSR 発行方法



1.「ホーム」より「SSL 証明書」をクリックします。



2.「SSL 証明書の追加」をクリックし、作成画面へ移動します。

3. 必要情報を記載します。

証明書名→ドメイン名を記載下さい。

※証明書を有効化する際に新規証明書に
関しては弊社にて有効化する
必要があります。その為必ず
ドメイン名にて記載下さい。

ビット数→発行したい証明書のビット数を
指定します。1024bit 又は
2048bit の発行が可能です。

ドメイン名→URL で利用する名称を記載し
ます。初期値はドメイン名
のみですので、必ず作成したい
ドメイン名をご確認下さい。

その他情報→お客様組織情報となります。

初期値は参考で弊社情報と
なっておりますので必ず修正
ください。

4. 必要情報の入力が終わりましたら「リク
エスト」ボタンをクリック下さい。

※認証局を利用せず自己証明書を発行す
る場合は「自己証明書」ボタンをクリックす
ることで発行可能となります。

ツール



SSL 証明書の追加

証明書に適合する秘密鍵を検索する

証明書

参照...

検索バー: サーチ 検索のリセット

SSL 証明書の削除

全 1 SSL証明書

<input type="checkbox"/>	R	K	C	A	証明書名
<input type="checkbox"/>					test

5.元の SSL 証明書 TOP 画面に戻り、作成した証明書が一覧に表示されますので、証明書名をクリックし詳細を確認下さい。

CSR

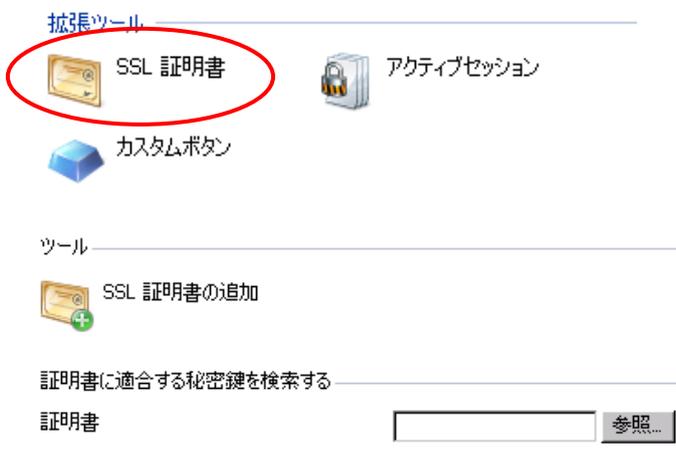
```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIIB2TCCAUICAQAwZG9zCzAkJBgNVBAYTAkpQMRIwEAYDVQQIFAnnbhkuqzpg70x
DzANBgNVBACUa4r+WMujEcmBcGAIUEChMTU29ndGJhbatUZWx1Y29tIEluYzEg
MBA41UEAwMkYdG1wMDEuYn16dGVzdC51bHRpbmEuanAxJDAiBgkqhkiG9w0BCQEW
FVluZm8tZG9tYVluQz9kbi5hZC5qc29uZm8tZG9tYVluZm8tZG9tYVluZm8tZG9t
qYEA2kdt5m12LR/Fgh1fu8jdu5IB5VTJZW91EqIhNcEsjJePgnNnNfsz5Q0dZnQ
rvk58tBd2EM1vn2jEjvuj2IfD0/nNkNWwTcLjzc0B8/J056pHV0FvFXGvtgcbvtRe
9zV61BKxU1b/QNLc6pxrYGVngCz80PuVslRhrNVU6+bfECAwEAAMAAMAAQCSqG
S1b3DQEBBQIIAA4GBAlqjzcV50RFVWMEsmuknb9nA0F7PWPvAvb+ahRMZxvR5ZozYA
XAJGsl6H4iRrhVWVtpr6AE77h9/eDyFueEFCNELJit/CfurD8jT7M3nZr9SRrPx
3sLgnR5om6vS4Cav1t0YbPwJswWaoYMb92yTb1gh0jvCE176WBC8dHzG0k9v
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
```

秘密鍵

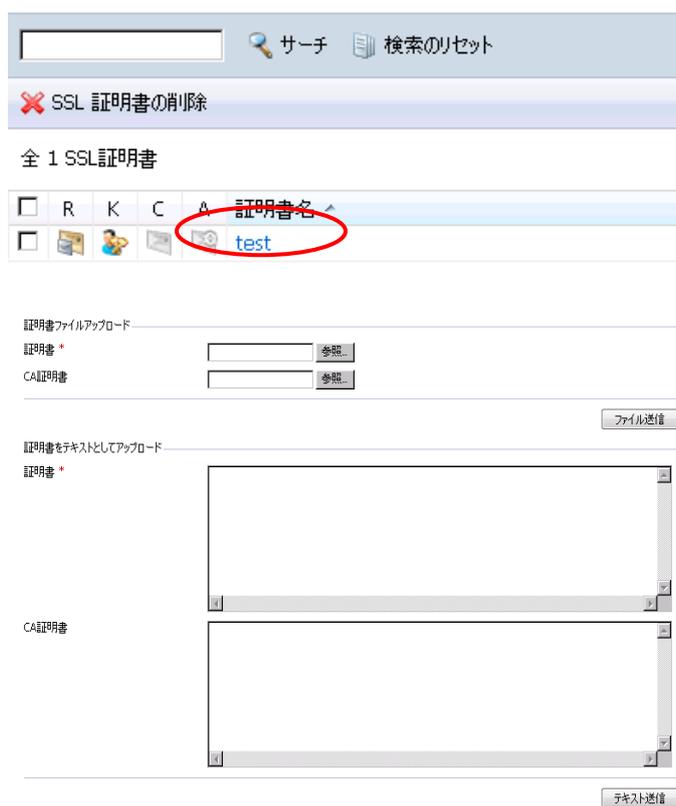
```
-----BEGIN RSA PRIVATE KEY-----
MIICXAIBAAKBgQDeR23mbRYtH8WCHV+7yN27kgH1VOs11b2USoiE1vSyM14+2eY
1+zP1A51mZCu+Tny0F3VE3W+baMG06PYh8PT+c2Q1bBNvuP0g4Hz8K5LqkdZjOXE
ZbK2Chu+1F73NkxUeRFTVv9A0t7qmVFGZwoLPzQ+5VKWdGGSxVTr5t8QIDAQAB
AoGBAKH6aaKaThz008Pve1BGocyEb+V323ub0ABAQviY6wIlgFvyeNkiOrhbfVN1
bs15Zrg6SbaDz1dN0rFVZqDTNxiLLiGBFRgSx1WvEPYsFfgHGqtk5PPg9uRjdz
5azTZI0pQ0IPxka/Sd5yhfeY3tTAZWTy1Pk05En2suzuuQzWakEA/VIRk/50kn5G
MTv1xH2iboT9Y6752DaNcLHaoTgPbVWVW0G0syktu+e0/CLKITvEE8ADCSSLmCvA
En5/WFIHsvJBAlyWeiVkaXSY51UuccF1TC5JjeZiYNGE51c9p6mGtYmBAHeDb8mo
MQuCamGDvFXAWweuc+CcDV35/5yzmN8VrjHCQE+QP0UKXqjEUHeWQIT00Ne1nYB5
oG+YcsQ6mFiaqv300PNgp8i93kdud0HaE5z8kJFDdbF1bnKtiDhEzG2JFHECQCQ
HPPPR4bR1e+MJ22nTfSa6R3eUhiFgkMx86sn9h03tVJ0f0C+dvWv20egFE48113f
c1mXcCyhc5ij0EVSVECCGtgczb4Kbu/eSyCGUJmW6T2W3ANfLz6nv5AGoPsOH1
wxrHHIUC91z9hDf7kj071FHF5tF5NtIK+dtrIGCfJaY=
-----END RSA PRIVATE KEY-----
```

6.入力画面の下段に左図の様に CSR と秘密鍵が発行されています。CSR の情報をご利用の認証局へ提示し、SSL 証明書申請を行って下さい。

3. 2. 1. 4. SSL 証明書適用方法



1.「ホーム」より「SSL 証明書」をクリックします。



2.適用する為の SSL 証明書名をクリックします。

3.編集画面中段に左図の項目があり、2 通りの方法で適用が可能です。

・アップロード方式

認証局より取得した証明書をテキストファイルとしてアップすることで適用可能です。「証明書ファイルアップロード」右側にある参照をクリックし、ローカル PC で保存したファイルを指定します。

指定が完了したら右側の「ファイル送信」をクリックすることで登録が出来ます。

・テキスト貼付け方式

認証局より発行された CSR 情報をコピーし「証明書をテキストとしてアップロード」右側にある欄に貼り付けます。

貼付け後「テキストの送信」をクリックすることで反映可能です。

※アップロードは上記いずれか 1 つの方法で実行します。

3. 2. 1. 5. SSL 証明書有効化方法

新規 SSL 証明書に関しては最終的に弊社にて有効化をする作業が必要となります。

以下テンプレートをご利用頂き弊社まで適応のご依頼を下さい。標準翌営業日までに対応完了となります。

※証明書更新に関しては 3.2.2 を参照頂き更新のみで弊社へのご連絡は不要となります。

※組織名称・住所等の変更、認証局変更に関しては新規証明書発行となる為弊社へのご連絡が必要となります。

ご依頼先 Mail アドレス;info-domain@odn.ad.jp

件名:【シェアードホスティング SSL 証明書有効化】(ご利用ドメイン名)

本文:

SSL 証明書新規取得に伴い以下 SSL 証明書を有効化実施下さい。

お客様回線番号:

お客様ドメイン名:

作成証明書名:

完了後に、完了した旨のご返信をさせていただきます。

3. 2. 2 SSL 証明書更新方法

拡張ツール

SSL 証明書

アクティブセッション

カスタムボタン

ツール

新しい SSL 証明書の追加

証明書に適合する秘密鍵を検索する

証明書 参照...

検索

検索のリセット

SSL 証明書の削除

全 1 SSL証明書

R K C A 証明書名

test

1.「ホーム」より「SSL 証明書」をクリックします。

2.既存で作成した証明書を選択

```

CSR
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
-----END CERTIFICATE REQUEST-----

```

3.既存で登録されている CSR 部分を
認証局に提示し証明書の更新手続を
行って下さい。

証明書ファイルアップロード

証明書 参照

CA証明書 参照

ファイル送信

証明書をテキストとしてアップロード

証明書

CA証明書

テキスト送信

4.認証局より発行された証明書を既存
証明書の左図よりファイルでの送信又
はテキストでの送信を行い Update に
て完了となります。
最後にサイトの証明書が正常に反映
していることをご確認下さい。

3.3. SSI

SSI をご利用いただくことができます。

3.3.1 ご利用方法

SSI を使用する場合、拡張子を「.shtml」に変更してください。

SSI コマンドは次の構文に従って、記述してください。

```
<!--#commamd cmd_argument="argument_value"-->
```

3.3.2 ご利用可能コマンド

① echo コマンド

サーバ環境変数の内容を表示します。

変数	解説
Date_Local	現在の日付と時刻(日本時間)
Date_GMT	グリニッジ標準時での日付と時刻
Document_Name	SSI を含む HTML のファイル名
Document_URI	SSI を含む HTML ファイルのルートディレクトリからのパス
Last_Modified	SSI を含む HTML ファイルの最終更新日時

例)

```
<!--#echo var="Date_Local"-->
```

表示例: Monday, 16-Feb-2004 16:54:25 JST

② config コマンド

環境変数の表示形式を変更できます。

変数	解説
%A	曜日
%B	月
%d	日付
%Y	西暦
%l	時刻
%M	分
%P	a.m. p.m.

例)

```
<!--#config timefmt="%Y/%m/%d %dh.%B %A %l %M %P"-->  
<!--#echo var="Date_Local"-->
```

表示例: 2004/02/16 16th. February Monday 4 54 pm

③ fsize コマンド

指定したファイルのサイズを表示します。

変数が file の場合、相対パスで指定します。(上位ディレクトリの指定はできません。)

変数が virtual の場合、相対パス又は仮想パス (http://~/~/xxxxx/yyyyy の/xxxxx/yyyyy) で指定します。

例)

```
<!--#fsize file="aaaa.txt"-->  
<!--#fsize virtual="/test/aaaa.txt"-->
```

表示例: 1k

④ include コマンド

ファイルの内容をそのまま表示します。

変数が file の場合、相対パスで指定します。(上位ディレクトリの指定はできません。)

変数が virtual の場合、相対パス又は仮想パス (http://~/~/xxxxx/yyyyy の/xxxxx/yyyyy) で指定します。

例)

```
<!--#include file="aaaa.txt"-->  
<!--#include virtual="/test/aaaa.txt"-->
```

⑤ flastmod コマンド

指定されたファイルのタイムスタンプを表示します。

変数が file の場合、相対パスで指定します。(上位ディレクトリの指定はできません。)

変数が virtual の場合、相対パス又は仮想パス (http://~/~/xxxxx/yyyyy の/xxxxx/yyyyy) で指定します。

例)

```
<!--# flastmod file="aaaa.txt"-->  
<!--# flastmod virtual="/test/aaaa.txt"-->
```

表示例: 2004/02/05 11:26:01

⑥ exec コマンド

HTML 画面が読み込まれた時に、自動的に CGI スクリプトを実行するのに使用します。

相対パス又は仮想パス (http://~/~/xxxxx/yyyyy の/xxxxx/yyyyy) で指定します。

例)

```
<!--#exec cgi="/cgi-bin/test.cgi"-->
```

